

★この事業は全国モーターポート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施するものです。

紙ごみ減量チャレンジ団体の表彰開催

11月18日に開催いたしました「ごみ減量フェア」内にて、紙ごみ減量チャレンジ団体の表彰式を行いました。

《最優秀団体》

上古賀区
子ども会と区役員が協働で、1戸1戸を訪問し資源ごみ回収を実施。高齢者見守り活動も併せて実施

川原市区
資源ごみ回収だけでなく、独自のごみ分別チラシなどを作成し発行。

高島市立朽木東小学校
校内だけでなく、地域や保護者を取り込んだ活動を実施

《優秀賞》
打下区、北浜いきいきふれあいサロン、松陽台区、針江区、中浜婦人会、霜降区

《奨励賞》
山中老人クラブ、新保区

受賞団体の活動をモデルに、紙ごみ減量の取り組みが一層広がるよう、皆様のご理解とご協力をお願いします。

【おことわり】
12月16日(日)に開催を予定していましたが「第2回リサイクル広場」は、諸事情のため、中止させていただくこととなりました。ご了承ください。

☎ 環境政策課 ごみ減量推進室 ☎(25) 8123



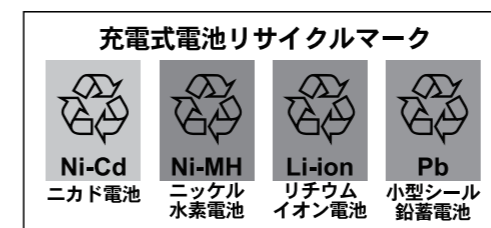
◎お札のリサイクルについて◎
汚損などにより流通に適さなくなったお札は、日本銀行の本支店内で細かく裁断されます。この裁断屑のうち、現時点では概ね半分程度が、住宅用建材や固形燃料、貯金箱、事務用品等にリサイクルされており、その他は、一般廃棄物として各地方自治体の焼却施設において焼却処分されています。(日本銀行ホームページより抜粋)

小型充電式電気製品は電池を取り出してから廃棄を!

小型充電式電池とは、使い切りの電池(乾電池など)と異なり、充電して繰り返し使える電池のことで、主な材料として、ニッケル、コバルト、カドミウムなど希少な資源が使われています。

次のような商品に充電式電池は使われています。

- ・電気カミソリ
- ・電動歯ブラシ
- ・コードレスクリーナー
- ・電動工具
- ・デジタルカメラ
- ・携帯ゲーム機
- ・コードレステレホン
- ・ラジコンカー など



小型充電式電池は、リサイクル協力店(電気製品販売店等)のリサイクルボックスに投入することで、再資源化されています。小型充電式電池リサイクルの詳しいことは、JBR Cのホームページ(<http://www.jbr.com>)から検索できます。

☎ 環境政策課 ☎(25) 8123

年末年始 特別警戒実施中!

年末年始の慌ただしい時こそ、犯罪・交通事故対策を!!

警察では、高島市民の皆さんが明るく楽しい新年を迎えられるよう、歳末における特別警戒を実施し、犯罪や事故の未然防止活動に努めています。

被害に遭わないよう、防犯対策を心がけ、高島市民全体で力を合わせて「犯罪の起りにくい社会づくり」に取り組みしましょう。



《防犯対策のポイント》

- ・就寝前、外出時の戸締まりを確実にしましょう。
- ・倉庫から農機具が盗まれる被害も多発しています。しっかりと鍵かけを!
- ・車の中にはカバンや貴重品を放置しないようにしましょう。
- ・自転車やオートバイには必ず鍵をかけ、「ツーロック」にしましょう。
- ・チカンの被害に遭わないために、人通りの少ない道・街灯のない道は避けましょう。また、防犯ブザーを活用しましょう。

《交通事故の防止のポイント》

12月は例年交通事故が多く、特に夕暮れ時間帯に重大事故が発生しています。この時期特有の気ぜわしさに加え、買い物や帰省に伴って混雑します。交通事故が起りやすくなります。交通事故に遭わない、起こさないためにも次の点に気をつけましょう。

- ①夕暮れ時、夜間は早めに前照灯を点灯しましょう。
- ②違法駐車は厳禁です。
- ③無理のない、ゆとりある運転をしましょう。
- ④シートベルト・チャイルドシートの着用を徹底しましょう。

☎ 高島警察署 ☎(22) 0110

年末の交通安全県民運動

- ▼運動期間
12月1日(土)～31日(月)
- ▼運動の基本
「子どもと高齢者の交通事故防止」
- ▼運動の重点項目
 - ①横断歩行者の安全確保の推進
 - ②夕暮れ時や夜間の交通事故防止
～前照灯早め点灯、ハイビーム切り替えと反射材着用の推進～
 - ③飲酒運転の根絶
 - ④全席シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

☎ “セーフティーたかしま”交通安全推進協議会 ☎(22) 0058

交通事故 発生状況

☎ 高島警察署 ☎(22) 0110

内容	件数	前年比
人身事故		
発生件数	150件	-40件
死者数	10人	+4人
傷者数	211人	-39人

発生場所	件数
マキノ	19件
今津	38件
朽木	8件
安曇川	38件
高島	18件
新旭	29件

(平成24年10月末現在)



火災・救急・救助 件数

☎ 消防総務課 ☎(22) 5401

火災	件数	1月からの累計
建物火災	3件	8件
車両火災	1件	3件
林野火災	0件	1件
その他火災	2件	19件

救急	件数	1月からの累計
交通事故	14件	157件
一般負傷	30件	322件
急病	105件	1257件
その他	17件	249件

救助	件数	1月からの累計
火災	2件	8件
交通事故	2件	23件
水難事故	0件	4件
その他	3件	10件

(平成24年10月末現在)

(注)【救急】その他
=火災+労働災害+運動競技+加害+自損事故+転院搬送等
【救助】その他
=自然災害+機械事故+建物事故+ガス事故+爆発等

環境放射線 測定結果

☎ 原子力防災対策室 ☎(25) 8133

10月平均値(平日測定)	
マキノ(マキノ支所前駐車場)	0.066 μSv/h
今津(今津支所玄関北側)	0.060 μSv/h
朽木(朽木支所前駐車場)	0.065 μSv/h
安曇川(安曇川支所裏駐車場)	0.052 μSv/h
高島(高島支所東駐車場)	0.053 μSv/h
新旭(市役所北側玄関前)	0.061 μSv/h

10月から測定回数が変わりました。市役所と各支所の前は、毎週火曜日に金曜日に測定しています。測定地点は、ほかに24か所あり、毎月第2水曜日の1回測定しています。その他の測定地点の測定結果は、ホームページをご覧ください。

【日常生活と放射線】
●一人あたりの自然放射線量(日本)
0.171 μSv/h ※世界平均0.27 μSv/h
年間平均値から8,760(24時間×365日)で割り戻した値です。